



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月8日

上場会社名 ナラサキ産業株式会社  
 コード番号 8085 URL <https://www.narasaki.co.jp/>

上場取引所 東 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 克久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 毎原 吉紀

TEL 03-6732-7355

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	44,246	2.4	995	14.0	1,049	16.2	682	14.4
2022年3月期第2四半期	43,195	8.3	873	45.7	903	50.8	596	4.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 572百万円 ( 5.1%) 2022年3月期第2四半期 603百万円 ( 43.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	137.32	
2022年3月期第2四半期	120.96	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	47,122	19,515	40.4
2022年3月期	48,233	19,214	38.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 19,039百万円 2022年3月期 18,754百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		65.00	65.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期 期末配当金の内訳 普通配当60円00銭 記念配当5円00銭

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	3.4	2,500	8.6	2,500	4.2	1,700	8.6	343.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	5,325,600 株	2022年3月期	5,325,600 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	334,018 株	2022年3月期	367,518 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	4,971,815 株	2022年3月期2Q	4,932,845 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2022年5月10日に公表しました業績予想に変更はございません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波により感染が急拡大したものの、行動制限の緩和により経済活動の正常化が進むなど、回復基調で推移しました。一方、資源・エネルギー価格の高騰や急激な円安の進行により物価上昇圧力が高まるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、需要動向は総じて回復基調にあるものの、多くの事業分野において部材不足による長納期化や原材料価格高騰の影響を受けました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は442億46百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は9億95百万円（前年同期比14.0%増）、経常利益は10億49百万円（前年同期比16.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億82百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

#### (電機関連事業)

生産設備分野、建築設備分野において、部材不足等による納期の長期化が広範囲にわたり継続しております。一方、半導体市場における設備投資など需要は旺盛な状況が続いており、FA機器製品、レーザ加工機などの販売が順調に推移しました。

以上の結果、売上高は119億90百万円（前年同期比14.2%増）、セグメント利益は5億58百万円（前年同期比47.2%増）となりました。

#### (機械関連事業)

農業施設分野、産業機械分野における省人化投資等の引合いは堅調であり、農業施設案件などの受注額が増加しましたが、設備資材不足等の影響により大型物件の受渡しが少なく、収益面は低調に推移しました。

以上の結果、売上高は23億29百万円（前年同期比46.8%減）、セグメント損失71百万円（前年同期はセグメント利益16百万円）となりました。

#### (建設・エネルギー関連事業)

建材分野では、建築資材の高騰や納期の長期化により首都圏近郊の建築案件が伸び悩みましたが、北海道新幹線工事におけるセメント、骨材の出荷は引き続き堅調に推移しました。建設機械分野では、コンクリート関連機械に対する需要は回復傾向にありますが、製品の長納期化の影響を受けました。エネルギー分野では、原油価格高騰による石油製品の販売価格の上昇・高止まりなど、厳しい市場環境が続きました。

以上の結果、売上高は215億9百万円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は2億22百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

#### (海運関連事業)

連結子会社のナラサキスタックス(株)では、コンテナ不足や円安の影響を受けましたが、貨物取扱量は総じて回復傾向となり、鋼材や石炭の取扱いが増加しました。加えて、新規貨物の獲得、社内外原価の削減、効率配船等により収益確保に努めました。

以上の結果、売上高は84億17百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント利益は2億82百万円（前年同期比34.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は471億22百万円となり、前連結会計年度末に比べて11億10百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少12億42百万円、電子記録債権の減少6億54百万円、現金及び預金の増加13億4百万円であります。

負債は276億6百万円となり、前連結会計年度末に比べて14億12百万円の減少となりました。主な要因は、電子記録債務の減少13億20百万円、借入金の減少1億51百万円、支払手形及び買掛金の増加3億28百万円であります。

純資産は195億15百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億1百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.5ポイント増加し、40.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は123億57百万円(前年同期は101億63百万円)となり、前連結会計年度末に比べ13億4百万円の増加となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、19億86百万円の収入(前年同期は6億13百万円の支出)となりました。主な収入項目は、売上債権の減少額18億95百万円、税金等調整前四半期純利益10億52百万円及び減価償却費2億96百万円であり、主な支出項目は、仕入債務の減少額9億91百万円及び法人税等の支払額4億52百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億16百万円の支出(前年同期は82百万円の支出)となりました。主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出1億29百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億69百万円の支出(前年同期は3億79百万円の支出)となりました。主な支出項目は、配当金の支払額3億28百万円及び借入金の純減少額1億51百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年5月10日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,080	12,385
受取手形、売掛金及び契約資産	16,136	14,894
電子記録債権	3,022	2,368
商品及び製品	1,619	1,709
仕掛品	9	91
原材料及び貯蔵品	44	55
その他	1,977	1,667
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	33,885	33,166
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,604	4,604
その他(純額)	3,982	3,748
有形固定資産合計	8,586	8,352
無形固定資産		
174	174	156
投資その他の資産		
その他	5,594	5,455
貸倒引当金	△8	△9
投資その他の資産合計	5,586	5,446
固定資産合計	14,347	13,955
資産合計	48,233	47,122

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,262	12,590
電子記録債務	8,032	6,712
短期借入金	1,350	1,350
1年内返済予定の長期借入金	236	140
未払法人税等	495	362
賞与引当金	422	401
その他	1,404	1,537
流動負債合計	24,203	23,095
固定負債		
長期借入金	498	442
特別修繕引当金	100	60
退職給付に係る負債	1,260	1,256
その他	2,955	2,751
固定負債合計	4,816	4,511
負債合計	29,019	27,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,292	1,291
利益剰余金	14,735	15,091
自己株式	△686	△623
株主資本合計	17,697	18,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	898	791
繰延ヘッジ損益	1	5
退職給付に係る調整累計額	157	128
その他の包括利益累計額合計	1,057	925
非支配株主持分	459	475
純資産合計	19,214	19,515
負債純資産合計	48,233	47,122

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	43,195	44,246
売上原価	38,627	39,450
売上総利益	4,568	4,796
販売費及び一般管理費	3,695	3,800
営業利益	873	995
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	38	51
持分法による投資利益	13	8
その他	24	34
営業外収益合計	80	97
営業外費用		
支払利息	25	23
その他	25	20
営業外費用合計	50	44
経常利益	903	1,049
特別利益		
固定資産売却益	0	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産処分損	0	0
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	903	1,052
法人税、住民税及び事業税	280	322
法人税等調整額	9	24
法人税等合計	289	346
四半期純利益	613	705
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	596	682

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	613	705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	△108
繰延ヘッジ損益	△1	3
退職給付に係る調整額	△26	△28
その他の包括利益合計	△10	△132
四半期包括利益	603	572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	587	550
非支配株主に係る四半期包括利益	15	22

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	903	1,052
減価償却費	292	296
長期前払費用償却額	2	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	△21
退職給付に係る資産負債の増減額	△53	△50
その他の引当金の増減額 (△は減少)	17	△40
受取利息及び受取配当金	△42	△54
支払利息	25	23
持分法による投資損益 (△は益)	△13	△8
固定資産処分損益 (△は益)	△0	△3
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△928	1,895
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△286	△181
前渡金の増減額 (△は増加)	619	137
仕入債務の増減額 (△は減少)	△589	△991
その他	△201	363
小計	△250	2,421
利息及び配当金の受取額	46	58
利息の支払額	△25	△24
法人税等の支払額	△368	△452
その他	△16	△17
営業活動によるキャッシュ・フロー	△613	1,986
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△97	△129
有形固定資産の売却による収入	0	4
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
貸付けによる支出	△6	△2
貸付金の回収による収入	4	6
その他	20	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82	△116
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200	—
長期借入金の返済による支出	△192	△151
自己株式の売却による収入	23	22
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△298	△322
非支配株主への配当金の支払額	△4	△5
その他	△106	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△379	△569
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,076	1,304
現金及び現金同等物の期首残高	11,239	11,052
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,163	12,357

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建設・ エネルギー 関連事業	海運 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
顧客との契約から生じる収益	10,502	4,376	20,708	7,601	43,189	—	43,189
その他の収益	—	—	6	—	6	—	6
外部顧客への売上高	10,502	4,376	20,714	7,601	43,195	—	43,195
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	173	9	182	△182	—
計	10,502	4,376	20,887	7,611	43,378	△182	43,195
セグメント利益	379	16	266	210	873	△0	873

(注) 1 セグメント利益の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△5百万円、セグメント間取引消去額5百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建設・ エネルギー 関連事業	海運 関連事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生じ る収益	11,990	2,329	21,503	8,417	44,240	—	44,240
その他の収益	—	—	6	—	6	—	6
外部顧客への売上高	11,990	2,329	21,509	8,417	44,246	—	44,246
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	218	7	225	△225	—
計	11,990	2,329	21,727	8,425	44,472	△225	44,246
セグメント利益又は セグメント損失(△)	558	△71	222	282	993	2	995

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△1百万円、セグメント間取引消去額4百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。